

平成26年第3回定例会 可決した主な議案

※各会派の賛否状況は8面

補正予算 一般会計に11億8,400万円を追加

補正予算の主なものは次のとおりです。

- 避難所への太陽光発電設備等の導入 7億7,300万円
- 高齢者施設開設準備金の補助 9,600万円
- 社会保障・税番号制度対応システムの整備 5,100万円
- 一般廃棄物処理施設基本計画作成事業費 1,700万円
- 障害者グループホームへのスプリンクラー設置補助 1,246万円
- 対象を小学校高学年まで拡大することに伴う、子どもルーム整備事業費 1,100万円

子ども・子育て支援新制度に関する条例を整備

平成27年4月からの子ども・子育て支援新制度の施行に向けて、本市で新たに制定することとされた幼保連携型認定こども園などの認可基準や運営基準等を整備するため、6本の条例を制定・一部改正・廃止しました。

千葉駅西口地区に建築物の制限適用へ

千葉駅西口地区(市街地再開発事業区域内)に、マージャン屋、ぱちんこ屋、葬儀を行う集会場等は建築できないこととなりました。

旧真砂第一小学校跡施設を コミュニティセンター等として活用へ

学校統廃合により廃校になった旧真砂第一小学校の跡施設に大規模改造工事を行い、コミュニティセンター・障害福祉サービス事業所・地域活動支援センターからなる複合施設として活用します。



旧真砂第一小学校跡施設

市政のここが聞きたい ～一般質問～

26人の議員が、市政に関する一般質問を行いました。主な質問項目は次のとおりです。内容は市議会ホームページの議会中継(録画放映)をご覧ください。

<http://www.chiba-city.stream.jfit.co.jp/>

- 防犯街灯のLED化について (森山 和博 公明党)
- 学校の普通教室へのエアコン設置について (中村 公江 共産党)
- 下水道事業について (植草 毅 自民党)
- 芸術文化による経済波及効果について (小田 求 未来創造)
- 京葉道路の渋滞対策の促進について (秋葉 忠雄 自民党)
- 市民サービスの向上について (三瓶 輝枝 民主党)
- 不登校児童生徒のサポートについて (山田 京子 市民ネット)
- 介護支援ボランティア事業について (伊藤 康平 公明党)
- 郷土の歴史教育について (向後 保雄 自民党)
- 磯辺地区の学校統廃合後の避難所施設について (松坂 吉則 自民党)
- 犢橋公民館と犢橋市民センターについて (盛田 眞弓 共産党)
- 超高齢社会における医療機関等への交通対策について (野本 信正 共産党)
- 団地再生問題について (米持 克彦 自民党)
- 防災・減災対策について (村尾 伊佐夫 公明党)
- ことぶき大学校について (小松崎 文嘉 自民党)
- 教育改革について (岡田 慎 次世代・維新)
- 土砂災害対策について (白鳥 誠 民主党)
- 保育の質の確保について (阿部 智 次世代・維新)
- 子育て支援について (三ツ井 美和香 民主党)
- 障がい者福祉の充実について (亀井 琢磨 未来創造)
- 高齢者福祉について (山岡 勲 無所属)
- ちばレボについて (麻生 紀雄 民主党)
- 空き家対策について (安喰 武夫 共産党)
- 葬祭場等の設置にかかわる問題について (福永 洋 共産党)
- 東京オリンピックに向けた踏み込んだ経済活性化策について (山本 直史 未来創造)
- 地域猫について (櫻井 崇 無所属)

()内は氏名と会派名 ※通告順

常任委員会審査から

9月12日の常任委員会では、決算議案以外の議案や請願・陳情は、所管の常任委員会で、細部にわたり審査しました。主な質疑をご紹介します。

総務委員会

議案1件/請願1件

社会保障・税番号制度に対応する税務システムの整備は

- 問 税務システムの改修費用を低減する観点から、システムの改修にあたり、開発業者以外のパッケージソフトを導入することは検討しなかったのか。
- 答 開発中の税務システムに、新たな機能を追加するものなので、著作権法上の観点から、開発業者との随意契約を考えている。

環境経済委員会

議案2件/陳情1件

再生可能エネルギーで 避難所の電力需要をどの程度賄えるか

問 平成28年度までの3年間で避難所である公共施設22か所程度と民間施設2か所程度に、太陽光発電設備や蓄電池等を設置することだが、災害時の電力需要をどの程度賄える容量を想定するか。

答 防災無線、通信用パソコン、携帯電話、本部や避難所誘導路の照明、テレビ等の電力が賄える最小限の容量を想定する。電力使用の優先順位等は避難所運営委員会と協議していく。



避難所に設置される太陽光発電設備

保健消防委員会

議案6件

定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの普及促進策は

- 問 当サービスが利用者や家族に知られていないことから、サービスの普及を図るためには、ケアマネージャーの認識を高める必要があるが、どのように周知をするのか。
- 答 あんしんケアセンターの連絡会議や居宅サービス事業者の連絡会議等で当サービスの事業内容について説明するとともに、具体的な事例を紹介し、このサービスへの理解を広めたい。

教育未来委員会

議案10件/請願2件/陳情2件

幼保連携型認定こども園の 拡充への考え方は

- 問 幼保連携型認定こども園を拡充していく上で前提となる考え方は。
- 答 幼保連携型認定こども園は、保育所と幼稚園の良さを兼ね備えるとともに、保護者の就労状況に関わらず、お子さんを通わせることができる施設である。ここでの幼児教育が生涯を通じての人格形成の基礎となり、小中学校での教育に段階的につながるものとする。

都市建設委員会

議案8件

建築物の用途制限の事前設定は

- 問 今回、千葉駅西口地区の地区整備計画が定められた地域に、ぱちんこ屋などが建築できないとする用途制限が設定されたが、なぜ前もって地区計画を設定しなかったのか。
- 答 A棟の完成及びB工区の事業協力者公募内容を見極めながら地区計画を設定する予定であった。また、A棟建設と並行して所有者と入居テナントの協議も行ってきたが、急きよぱちんこ屋の入居の情報が入り、協議調整をしたが間に合わなかったためである。